

平成27年度湖南省総合防災訓練の概要

1 目的

平成27年度湖南省総合防災訓練は、地域防災計画の実行性を高めるため、市と各地区連絡所や地域との情報伝達訓練、避難訓練、避難所開設訓練及び市災害対策本部設置訓練、各部局対応訓練を市、各防災関係機関、地域が連携し、それぞれの災害対応力の充実及び防災意識の高揚を目的として実施する。

2 実施日時 平成27年10月4日（日）午前8時30分から12時

3 実施場所

市役所東庁舎、各まちづくりセンター、石部防災センター、市民学習交流センター、各出先機関、市内各地域

4 主催 湖南省

5 訓練参加機関、団体等、参加者

- ・地域：各区（参加31区）、各まちづくり協議会
- ・団体等：社会福祉協議会、岐阜県瑞浪市（支援要請連絡）
- ・防災関係機関：消防団、湖南中央消防署、甲賀土木事務所、甲賀警察署、陸上自衛隊
- ・市職員：全正規職員（出先機関職員含む）

6 訓練想定（風水害を想定）

秋雨前線の影響により、訓練前日の昼から断続的に降雨が続き、湖南省では、降り始めからの総雨量は100mmを記録した。气象台は、今後の雨量予測では最大50mm、総雨量は200mmが予想されることから、**18時00分、湖南省に大雨・洪水警報を発表した。**

湖南省では、警報発表に基づき速やかに警戒体制をとるとともに、降雨状況や河川の増水状況を注視していたが、一部道路の冠水や側溝からの雨水の溢れが確認された以外は、特に被害は発生しなかった。しかしながら、夜間にかけて降雨状況は強さを増し、河川の増水も観測されるようになってきた。

訓練当日06時00分、野洲川の横田橋水位が避難判断水位を記録したため、湖南省は、災害警戒本部を設置して、市内全域に避難準備情報を発令した。その後、引き続き情報収集に努めていたところ、岩根地区及び三雲地区に土砂崩れの発生を覚知するとともに、野洲川の横田橋水位が氾濫危険水位を記録し、総雨量も250mmに達したため、**08時30分、災害対策本部設置に踏み切った。**

7 訓練項目

- ・災害対策本部設置・運営訓練【災害対策本部員、各部局】
- ・職員参集訓練【全職場、全職員】
- ・各部局対応訓練、BCP（業務継続計画）確認訓練【各部局】
- ・情報伝達訓練【防災行政無線市内全域放送、市タウンメール・緊急速報メール配信】
- ・地区連絡所設置訓練【地区連絡所担当職員 各小学校区5名】
- ・避難所開設訓練【まちづくり協議会、学校、避難所支援担当部局】
- ・住民避難訓練（避難行動要支援者対応含む）【各区、ふるさと防災チーム、消防団等】

8 訓練の特徴

- ・災害対策本部長の職務代理者（副市長）による訓練指揮
- ・訓練を2部構成とし、発生初動時と3日後の対応行動を確認（各課BCPの確認、修正）
- ・各区において浸水や土砂災害を防災マップを基に確認し、水平避難が必要な世帯数や避難場所の点検を実施（市へ報告）